

令和4年度有明・山鹿地域事業部 合同研修会 及び有明地域事業部活動報告会 Web 研修開催(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 有明・山鹿地域事業部

日 時 令和4年5月21日(土) 14:00~16:30

会 場 名 ZOOMによるオンライン開催

◇『KT バランスチャートを使った食支援 ～低栄養には管理栄養士さんが絶対必要です～』

講師：玉名市地域包括支援センター 看護師 榎本淳子 氏

新型コロナウイルス感染症予防対策として、講師の先生、参加者、そして新旧役員の全てが ZOOM によるオンラインでの研修会開催となりました。43 名が職場や自宅等から参加を行いました。

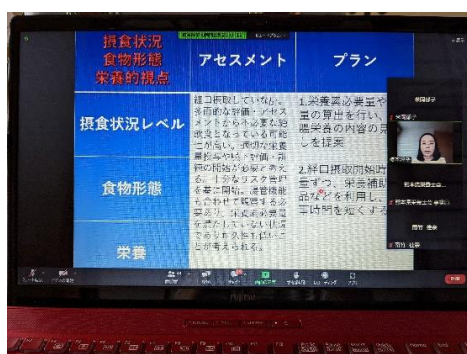
榎本先生は、有料老人ホーム施設長を経て、現在は玉名市地域包括支援センターへ勤務されています。看護師、社会福祉士、熊本県介護支援専門員、NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 食事介助実技認定者(九州、沖縄で5名)の資格をお持ちで、執筆活動もされておられます。

KT バランスチャートとは、K(口から)T(食べる)喜びを口から食べたいと望む方に対して、どのようにすれば食べる力が改善するのかという視点に立って作成されたツールです。13 の独立した観察と評価項目に、その方の状態を観察して当てはまる点数を 13 の多角形(くもの巣グラフ)上に書き込むことで、どの部分に問題があるのか、どの専門職が関わらなければいけないのかが視覚化され一目瞭然となっています。

その KT バランスチャートを利用し、榎本先生が今まで勤務されてきた職場での事例を紹介されました。公民館講座を利用されている方々は、見た目は元気そうに見えても 1/3~半数以上にフレイルがあるとのこと。体重の減少、食事が食べられなくなってきた・・・など、介護予防の現場からしっかり栄養改善をしていかないといけない、そのためには管理栄養士が地域に出て行ってほしいと訴えられました。また、介護の現場では自力摂取ができ、自分のペースで食べている方の動画に、この状態ではしっかり食べているとはいえませんと話されました。介入後の動画も見せていただき、食べるスピードは全く違い、食べたい意思を持って食べ進められる姿へと改善されていました。病院でも、摂食嚥下障害、低栄養、認知症、要介護 5 で終末期の方に対し、一口でも食べてもらいたいとの家族の思いもくみ取り、離床の質、食事の姿勢から介入を始められた結果、食事をしっかり食べられるようになったということでした。

KT バランスチャートは誰にでもわかりやすい評価項目である為、他職種で情報を共有するのに適しているのではないかと思います。おのおのの職場で活用し、栄養改善に取り組んでいきたいと思います。

ご講演いただきました榎本先生、誠にありがとうございました。



【オンラインでの受講】



【質疑応答の榎本先生】